

輝け！シン尾花沢中

第90号

令和7年

9月19日

たたえるほほの あかるさよ ああ光よぶ 学びやに

SNS事案を通して友情を考える～1年3組道徳科～

17日（水）に、教育実習生の小林由侑先生が1年3組で道徳科の授業をされ、参観しました。題材は「SNSに友達の悪口を書くと」。同級生のナオコから注意され頭にきたイチロウから「ナオコのことをSNSに投稿してやる」と打ち明けられたコウタが「イチロウの行為をどうするか」と悩む内容です。



本題材に関しての道徳科の目標は次のとおりです。

①「友情」という道徳的価値の理解を基に、②自己を見つめ、③物事を広い視野から多面的・多角的に考え、④人間としての生き方について考えを深める

1年3組の生徒は、イチロウの行為を止めようとするコウタの友情を十分に理解（価値理解）していました。そして「自分がコウタだったら…」「自分の経験を基に…」と自分事として考えていました。

また、グループでの議論や全体発表では、自分とは異なる意見に触れ多面的・多角的に考えることができていました。「自分がコウタだったらイチロウにどのタイミングで『投稿は止めよう』と声がけしますか」の発問に、声がけすることを前提とする大多数の意見に対して「言いにくい」「言うことができない」とう意見も出て、人間の弱さを理解（人間理解）したり、様々な意見があることを理解（他者理解）したりできていました。

さらに、発表者に対して、あたたかな拍手が飛び交い、友達の意見を大切に扱う1年3組の雰囲気感動したところです。

最後に「より深い人間関係を築くためにどうする？」の発問に対する生徒の意見を紹介します。

梶川 碧心さん：自分がしてはいけないと思ったことは注意します。自分の意見を伝えて理解し合えるような人間関係を築くことが大切だと思いました。

井上 晴太さん：言いたいことは直接伝えて互いに認め合います。

大類 竜愛さん：みんなと仲良く話して笑うようにします。

遠藤ひまりさん：どんなことをしてしまったら嫌な思いをするのかを考えるなど、相手のことを考えて行動します。



「自分だったら…」自己を見つめています



グループで多面的・多角的に考えています



意見を堂々と発表していました



発表者に笑顔で拍手する生徒たち。仲間の意見を尊重する姿勢が素晴らしい！安心して、自分の意見を発表できますね

小林先生、1年3組の皆さん、素晴らしい道徳科の授業をありがとうございました。

【文責：校長 工藤雅史】